

J A 全農ちば

営農情報集 2024. 1

【今月の情報】

1. 病害虫防除情報（園芸）
2. 安全な農作物生産の取り組みについて
～燃料の保管方法～

【今月の気象（気象庁 12/28 発表 1か月予報より）】

1月は気温が平年より高め、
となります。降水量が平年より
低く、晴れの日が多くなる予報と
なっております。施設での温度
管理には注意しましょう。

【気温】



【降水量】



【日照時間】



■ : 低い ■ : 平年並み ■ : 高い

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

注意とお願い

農薬登録内容は掲載時点の情報です。農薬を使用する際に必ず最新の登録内容をご確認ください。

園芸野菜 病害虫防除情報

J A全農ちば
営農支援部

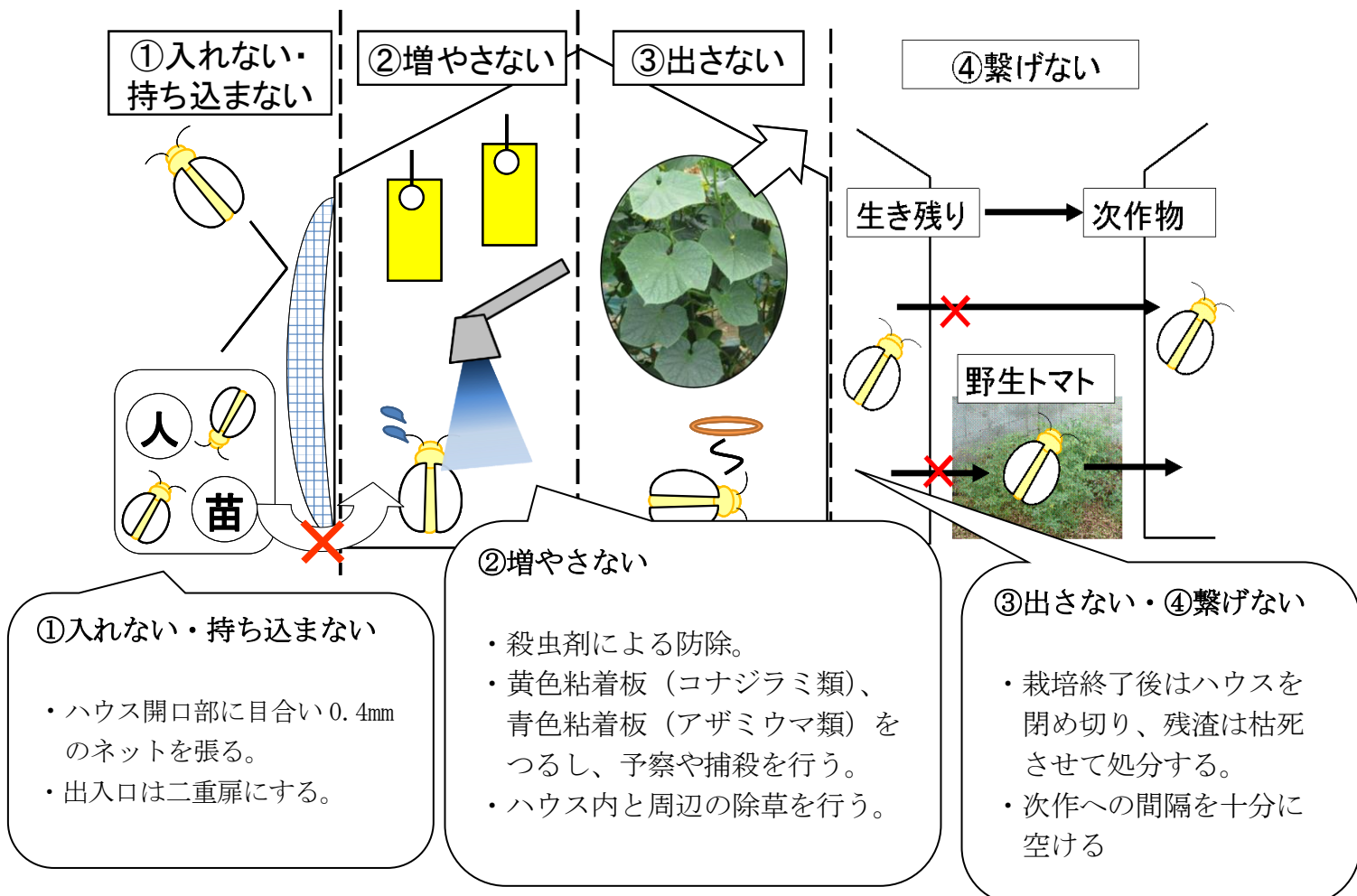
1. はじめに

気象庁発表の1か月予報によると、1月は晴れの日が多く、気温が平年よりも高くなる見込みとなっています。病害虫の発生は、年内から比較的少なく推移していますが、この時期から発生させてしまうと春先の被害が大きくなるリスクがあります。引き続き、病害虫発生前から初発生までの防除を徹底しましょう。

2. 施設作物 微小害虫対策(コナジラミ類・アザミウマ類など)

微小害虫対策で重要なことは害虫をハウスへ侵入させないことです。コナジラミ類やアザミウマ類は越冬型のハウス内やハウス周辺の雑草等に生息しており、風や人・モノの移動により育苗ハウス内へ侵入します。栽培初期に発生してしまうと、ウイルス病等のリスクも大きくなります。基本的な対策を徹底することが重要ですので、下記の事項を再確認しましょう。

- ハウス開口部や風上側など害虫が飛び込みやすい箇所には0.4mm目合いの防虫ネットを展張。
- 防虫ネット等にほつれが無いか確認しましょう。
- 側窓・天窗下などに黄色粘着板を吊るし、予察・捕殺を行いましょ。
- 害虫が発生しているハウスに入った際は、出る前に作業服をよくはたきましょう。
- 前作残渣は、きちんと枯らしてから処分しましょう。



●トマト コナジラミ類・アザミウマ類 初期防除剤 (育苗～定植)

対象害虫	IRACコード	薬剤名	使用量・使用方法	使用時期	使用回数	注意点
コナジラミ類	4A(ネオニコチノイド系)	ベストガード粒剤	1～2g/株 株元処理	育苗期	1回	育苗期・定植時 どちらか1回
			1～2g/株 植穴土壌混和	定植時	1回	
コナジラミ類・アザミウマ類	28(ジアミド系)	プリロツソ粒剤(オメガ)	2g/株 株元散布	育苗期後半～ 定植時	1回	プリロツソは 土壌水分が必要
		ベリマークSC	400倍/25ml/株～ 800倍/50ml/株 灌注	育苗期後半～ 定植当日		

●トマト コナジラミ類・アザミウマ類 生育期散布剤

対象害虫	IRACコード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	浸透移行性
コナジラミ類・アザミウマ類	5	ディアナ SC	2500	収穫前日まで	2回以内	×
	6	アグリメック	500～1000		3回以内	×
	23	モベントフロアブル	2000		3回以内	○
	28	ベネビアOD	2000		3回以内	○
コナジラミ類	4A	モスピラン顆粒水溶剤	2000		3回以内	○
コナジラミ類	9B	コルト顆粒水和剤	4000		3回以内	×

注意：薬剤抵抗性が出ないように、系統の異なる薬剤を選択しましょう。

薬剤使用時のポイント

- (1) 粒剤・灌注処理剤は根から成分が吸収されることで効果を発揮します。使用方法を守って使用しましょう。
- (2) コナジラミ類・アザミウマ類はどちらも下位葉裏側から寄生を始めます。発生状況を確認し、発生前～発生初期に防除を行いましょう。
極初期発生はヒザより下からなので、株元にしゃがみ、葉の裏をよく観察しましょう。
- (3) 同じ系統 (IRAC) の薬剤の連続散布は避けましょう。アザミウマ類はおよそ10～14日、コナジラミ類は21日ほどで卵から成虫になります。散布後はこの期間が経過する前に発生状況を確認し、次の防除時期を検討しましょう。

コナジラミ類 幼虫・サナギ



3. イチゴうどんこ病・灰色かび病

予防主体の防除を！

(1)うどんこ病

イチゴのうどんこ病は、はじめ葉裏から発生することが多く、感染が拡大すると葉表や葉柄、果実にも被害が及びます。未熟な果実に発生した場合、肥大が悪くなるほか、成熟しても果色が悪く味も低下してしまいます。胞子の発芽適温は17～20℃前後で、空中を飛散して広がります。**開花結実期に発病すると被害が大きくなるため、予防主体の徹底した防除を行いましょう。**



葉に発生したうどんこ病

(2)灰色かび病

イチゴの灰色かび病は、はじめ枯死した下葉などで病原菌が寄生増殖し、感染が拡大すると主に果実を中心に、果梗や葉柄、葉を侵します。果実が発病すると、褐変して灰色のカビを生じます。病原菌の発育適温は23℃ですが、最低2℃でも発育します。また、**過繁茂状態や湿気の高いところは発病が多くなるため、薬剤防除のみに頼らず、施設内の環境改善にも取り組みましょう。**



果実に発生した灰色かび病

(3)薬剤防除

●イチゴ うどんこ病・灰色かび病 防除薬剤

対象病害	FRACコード	薬剤名	希釈倍数※1	使用時期	使用回数	備考
うどんこ病	3	トリフミン水和剤	3000	収穫前日まで	5回以内	予防・治療
	50	プロパティフロアブル	3000		3回以内	予防・治療
	M7	ベルコートフロアブル	2000		5回以内	予防
うどんこ病	7	ケンジャフロアブル	1500		3回以内	予防
	9	フルピカフロアブル ※2	2000		3回以内	予防
灰色かび病	7+11	シグナムWDG ※3	2000		2回以内	予防・治療
	9+U13	ショウチノスケフロアブル ※2	2000	2回以内	予防・治療	
灰色かび病	12	セイビアーフロアブル 20	1000		3回以内	予防

※1 希釈倍数は登録のうち最大濃度を示しています(例:2000~3000倍登録→2000)

※2 フルピカとショウチノスケは同成分を含むため成分総使用回数に注意(合わせて3回以内)

※3 シグナムはカンタスの成分を含むため成分総使用回数に注意(合わせて3回以内)

4. キュウリーうどんこ病・菌核病・灰色かび病

施設栽培での急拡大に注意！

(1)うどんこ病

キュウリのうどんこ病は、主に葉の表面に発生し、被害が進むと葉全体が白い粉で覆われ、やがて枯死します。15～28℃のやや乾燥条件下で多発します。乾燥条件では被害が早く拡大しますので、発病を認めたらすぐに薬剤防除を行いましょう。



うどんこ病の被害



うどんこ病の病斑

(2)菌核病

キュウリの菌核病は、茎、果実、および葉に発生します。果実では、下の写真のように花落ち部分から侵され白色の菌糸を、葉には淡褐色から灰色の大きな病斑を生じます。発病適温は20℃前後ですが、10℃以下の日が続いても発生が多くなります。また、露地栽培よりも施設栽培で発生が多くなる傾向にあります。無加温ハウスは本病発生の好適条件となるため、特に注意しましょう。



果実に発生した菌核病の菌核



茎に発生した菌核病の菌核

(3)灰色かび病

キュウリの灰色かび病は、主に咲き終わってしぼんだ花の部分から感染し、下の写真のような灰色のカビを生じます。感染拡大すると主に地面に近い幼果から侵し、果実を黄褐色化させ、しだいに軟らかく腐敗させます。菌核病との同時防除が可能ですが、灰色かび病菌の耐性菌の出現に注意し、同一系統薬剤の連用・多用は避けましょう。



灰色かび病の実の被害



灰色かび病の葉の被害

(4)薬剤防除

●キュウリ うどんこ病：う・菌核病：菌・灰色かび病：灰 防除薬剤

対象病害	FRACコード	薬剤名	希釈倍数※1	使用時期	使用回数	備考
<u>う</u> ・ <u>菌</u> ・ <u>灰</u>	M7	ベルコートフロアブル	2000	収穫前日 まで	7回以内	予防
	7	アフェットフロアブル	2000		3回以内	予防
		ケンジャフロアブル	1500		4回以内	予防
<u>う</u> ・ <u>灰</u>	11	アミスター20フロアブル	1500		4回以内	予防・治療
	9	フルピカフロアブル ※2	2000		4回以内	予防
	9+U13	ショウチノスケフロアブル ※2	2000		2回以内	予防・治療
<u>菌</u> ・ <u>灰</u>	12	セイビアーフロアブル 20	1000		3回以内	予防
	1+10	ゲッター水和剤	1500	5回以内	予防・治療	
	2	ロブラール水和剤	1000	4回以内	予防・治療	

※1 希釈倍数は登録のうち最大濃度を示しています（例：2000～3000倍登録→2000）

※2 フルピカとショウチノスケは同成分を含むため成分総使用回数に注意（合わせて4回以内）

安全な農作物生産の取り組みについて

～燃料の保管方法～

J A全農ちば
営農支援部

1. はじめに

燃料の管理方法が適正でない場合、火災や、漏出による青果物・土壌汚染のリスクが発生します。燃料の適切な保管方法は消防法および市町村の火災予防条例により定められています。以下の点が重要ですので、この機会に再確認しましょう。

- (1) 燃料の近くに燃えやすいものを置かない。タバコなど引火の危険性がある行為をしない。
- (2) 燃料を収納する容器は破損・腐食等の無い適切なものを使用し、風通しの良い冷暗所で保管する。火気厳禁等の表示をする。
- (3) 燃料の流出に備える（防油堤・吸着用の砂の用意等）。

2. 燃料の保管容器について

安全のため、**適切な容器で保管しましょう。**特に灯油用ポリ容器にガソリンを入れると以下の問題が生じることから極めて危険なため、消防法により禁止されています。

- (1) ガソリン成分によりポリ容器が変形し、ガソリンが漏出する恐れあり！
- (2) キャップが劣化している場合、ガソリン蒸気圧により蓋が外れる恐れあり！
- (3) ポリ容器はガソリンとの流動による摩擦で静電気が溜まり、引火する恐れあり！



画像：危険物保安技術協会HPより引用

3. 燃料の貯蔵量に応じた法令対応について

消防法に適合した容器で保管する場合でも、貯蔵量により法令順守への対応が変わります。指定数量の5分の1以上を貯蔵する場合は、安全性の高い設備を備え、管轄する消防機関への届け出等が必要となります。消防法や市町村の火災予防条例について、今一度確認してみましょう。

種類		燃料の例	指定数量・5分の1の量
第四類 引火性液体	第一石油類	ガソリン	200ℓ・40ℓ
	第二石油類	灯油・軽油	1000ℓ・200ℓ
	第三石油類	重油	2000ℓ・400ℓ

例) ガソリン 40ℓ以上～200ℓ未満を貯蔵する場合は、前述の防火対策等を備え、消防機関へ届け出が必要。200ℓ以上では消防機関の許可が必要。